

令和6年度～令和8年度 那覇・南風原クリーンセンター

電力設備保守点検業務委託 仕様書

本仕様書は、令和6年度～令和8年度 那覇・南風原クリーンセンター電力設備保守点検業務(以下「保守点検業務」という。)の仕様について定めたものである。

1 保守点検業務の委託期間

令和6年4月1日～令和9年3月31日

2 保守点検業務の目的

保守点検業務は、那覇・南風原クリーンセンターにある電力設備を点検・整備することにより機能維持・故障防止を図り、那覇・南風原クリーンセンターの運転が常時安定的かつ良好に行われるようにすることをその目的とする。

※ 保守点検業務にあたっては、有資格者によって実施しなければならない。また、点検業務責任者の監視のもと、安全確保・事故防止に万全を期すとともに、電気事業法等関係法令規則等の定めを遵守すること。

3 保守点検業務の対象

3-1 保守点検業務の対象となる電力設備の所在

住 所：島尻郡南風原町字新川650番地

施設名：那覇・南風原クリーンセンター（以下「センター」とする。）

3-2 保守点検業務の対象となる電力設備の範囲

センター内にある以下の電力設備とする。（参考：電気室盤配置図、絶縁診断区画図 等）

- ① 特別高圧 22kv 受電及び変電設備（引込設備を含む）
- ② 高圧配電設備（コンデンサ盤含む）
- ③ 変圧器盤及び配電盤設備（破碎選別設備受配電盤含む）
- ④ 配電盤に接続している低圧回路全般
- ⑤ 分電盤に接続している低圧回路全般
- ⑥ 現場制御盤に接続している低圧回路全般
- ⑦ コントロールセンタ及び配電盤、分電盤、現場制御盤の主幹回路全般
- ⑧ 非常用発電機及び付帯設備

※令和6年11月以降は灰溶融炉設備が停止するため、関係する配電盤、分電盤、コントロールセンタ、現場制御盤の一部の保守点検を除く。

3-3 配置技術者について

月次点検及び精密点検時には、保守点検業務を安全に確実に実施するため、電力設備に精通した者を点検業務責任者として2名以上配置し、その者に、点検する作業員の安全について監視監督業務を行わせること。

4 保守点検業務の内容

4-1 定期保守点検

4-1-1. 月1回の月例点検(年 11回)

- ① 外観点検
- ② 特別高圧 22kV 及び高圧受配電設備の測定記録(電圧値、電流値、温度等)
- ③ 特別高圧 22kV 受変電設備及び構内電線路の点検
- ④ 非常用発電機の試運転点検
- ⑥ その他

特記事項：有資格者（第三種電気主任技術者等）により実施すること。また、点検用紙は組合から指定された書式により実施すること。尚、点検作業員の安全を確保するため、点検業務責任者を配置すること。

4-1-2. 精密点検(年 1回)

那覇・南風原クリーンセンター工場棟全体を停電し、電力設備の点検及び作業を実施する。

なお、限られた時間内での点検となるため、有資格者でなければできない点検業務は、第三種電気主任技術者等の有資格者が実施すること。尚、電気事故防止及び点検作業員の安全を監視するための点検業務責任者を配置すること。

(対象施設)

特別高圧引き込み設備、受電配電設備、常用発電設備（蒸気タービン等は除く）、非常用発電設備、環境の杜送電設備（鳥堀12号線引き込み開閉器一次側まで）及びその他の電気設備。

- ① 外観点検及び清掃
- ② 接地抵抗測定
- ③ 絶縁抵抗測定

(高圧回路、高圧機器、低圧回路、低圧動力盤、現場制御盤、コントロールセンタ 等)

- ④保護継電器試験
- ⑤高圧進相コンデンサー試験
- ⑥操作・状態表示試験
- ⑦保護連動試験（非常用発電機の始動・停止動作を含む）
- ⑧インターロック試験
- ⑨トランス 試験（絶縁抵抗測定、外観検査など）
- ⑩その他

※別紙 那覇・南風原クリーンセンター電力設備精密点検表 参照

(作業日程)

特別高圧受配電設備の停電作業は設備停止期間中(毎年10月頃予定)の内、1日間で実施する。停電日程、作業時間については、担当職員と調整すること。

※別紙 那覇・南風原クリーンセンター高圧受変電設備精密点検工程表 参照

(その他)

点検に必要な機器、計器類、照明、高所作業車及び仮設電源設備等は受託者で準備するものとする。

※別紙 仮設発電機 配線接続図 参照

4-2 異常時、緊急時の対応

電力設備の異常及び故障などの連絡を受けた場合は、土、日、祝祭日を問わず24時間体制で速やかに調査し適切な処置を行い、クリーンセンターが行う業務に支障をきたさないようにしなければならない。また、実施した内容について報告書を提出すること。

4-3 保安教育の補助

那覇市・南風原町環境施設組合電気工作物保安規程第3章に定められた保安教育の補助を行うこと。
(年1回実施予定)

4-3 提案・相談

電気料金削減方法等、委託者の利益となる情報等があれば随時提供・提案すること。また、監視装置の導入等、委託者から電力設備に関する相談があれば随時誠実に応じること。

5 費用負担

点検により必要であることが判明した修繕に伴う費用は委託者の負担とする。

6 報告及び検査

月例点検及び精密点検についての報告書の書式は、組合から指定された書式を使用すること。また、下記書類についても適時提出し、電気主任技術者と協議すること。

ア 工程表等の保守点検業務計画、配置する点検業務責任者に関する書類を提出すること。

イ 定期保守点検後は、速やかに委託者に報告書を提出すること。(様式については担当者と相談すること。)

ウ 定期保守点検の結果異常箇所が発見された場合は、ただちに委託者に口頭で報告するとともに、その指示に基づいて異常箇所を整備し、電力設備を常に良好な状態に維持しなければならない。

エ 整備後は、速やかに委託者に報告書を提出すること。

オ 報告書による報告後に委託者が行う検査に合格することにより、点検または整備が終了したものとする。

7 権利義務の譲渡禁止等 (再委託の禁止)

那覇市・南風原町環境施設組合契約規則 第9条の1に基づき、本業務委託について受注者は、本業務の全部または一部の処理を第三者に委託し、又は請け負わせてはならない。ただし、書面により発注者の承諾を得たときはこの限りでない。

8 委託料金の支払い

前項6にある報告及び検査が終了した場合、受注者は委託者へ委託料金を請求することができる。ただし、請求は下記期間ごとにおこなうこと。

第1回 令和6年4月～9月 、 第2回 令和6年10月～令和7年3月 (令和6年度)

第3回 令和7年4月～9月 、 第4回 令和7年10月～令和8年3月 (令和7年度)

第5回 令和8年4月～9月 、 第6回 令和8年10月～令和9年3月 (令和8年度)

9 その他

この仕様書の内容に疑義が生じたとき、または定めのない事項について定める必要が生じたときは、協議の上定める。ただし、軽微な事項については委託者の要望に従うこと。